

各位

上場会社名 株式会社 オーネックス
 代表者 代表取締役社長 大屋 和雄
 (コード番号 5987)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 鶴田 猛士
 (TEL 046-285-3664)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年8月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年6月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,706	5	6	△43	△1.93
今回修正予想(B)	2,666	134	135	58	3.50
増減額(B-A)	△40	129	129	101	
増減率(%)	△1.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年6月期第2四半期)	2,507	138	144	79	4.81

平成29年6月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,293	119	71	4.29
今回修正予想(B)	2,302	232	160	9.66
増減額(B-A)	9	113	89	
増減率(%)	0.4	95.0	125.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年6月期第2四半期)	2,220	172	114	6.90

修正の理由

【連結】

金属熱処理加工事業は、主力取引業界である自動車、建設機械、産業工作機械の中で、建設機械は引き続き低調、産業工作機械関連受注は横ばいで推移したものの、自動車部品関連受注が好調に推移しました。また、三重県亀山市に開設した株式会社オーネックスストックセンターの売り上げが増加しており、売上高は予想数値に近い数字を計上する見込みです。一方、経費面では、ガス・電力費等のエネルギーコストが低下し、労務費、修繕費等の経費削減に努めたため、営業利益、経常利益、当四半期純利益共に予想数値を上回る見込みです。

運送事業についても、売上高は予想数値に近い数字を計上する見込みであり、燃料費の低下や経費の削減に努めたため、営業利益、経常利益、当四半期純利益共に予想数値を上回る見込みです。

以上により、売上高は前回発表予想に対し若干の未達成を見込んでいますが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当四半期純利益共に予想数値を上回る見込みです。

【単体】

上記記載と同じ。

なお、通期の業績予想につきましては、主力取引業界である自動車業界からの受注見通しが、米国新政権の政策や中国の景気動向等によっては下振れするリスクがあるなど、今後の景気見通しに対する不透明感が大きいことから、前回予想を修正しないことといたします。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでいます。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上